

目次

1. 目的	1
2. テスト実施期間	1
3. センナについて	2
4. テスト対象銘柄	2
5. 概要	4
6. テスト結果	5
1) 下剤成分（センノシド）について	5
2) 衛生面について	12
3) 残留農薬について	14
4) 表示について	15
5) 内容量・価格について	17
7. 消費者へのアドバイス	18
8. 業界への要望	19
9. 行政への要望	20
10. テスト方法	21
11. 参考資料	24
参考資料1	24
参考資料2	25

1. 目的

「いわゆる健康食品」（以下「健康食品」とする）¹⁾の中には、ダイエット効果をうたった商品が多い。商品の種類は毎年激しく入れ替わっているが、便秘の解消や、便秘の改善を兼ねて肥満を解消するという商品は、流行に左右されず根強く販売され続けている。このような商品には原材料にセンナ茎が使用されていることが多く、6年前に実施した商品テスト「センナ茎等を利用したダイエット茶類」（1999年2月公表）²⁾では、専ら医薬品として使用されるセンナの小葉等が多くの商品に混入しているという状況が明らかになり、業界に改善を求め行政にも指導を要望した。

その後、それまで食品として使用することに制約がなかった下剤成分を高濃度に含有する葉軸部分は、専ら医薬品として使用される原材料として制限されたが、センナ茎を使用したと表示している商品で、小葉や葉軸などが検出されたという報告は相次いでいる。

また、PIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）によると、「健康食品」による危害情報は、2000年度から2005年度までの間に3,598件（2005年6月30日現在）寄せられ、商品別件数は上位であり、危害内容は消化器障害が約40%となっている。このうち、センナと特定できるものでは、「センナ茶で半日くらい下痢が止まらなかった」「センナ茎入りのダイエット茶を飲んだら便通がいいので心配になった。飲んでも大丈夫か」などの相談が寄せられている。

そこで、「ダイエット」などをうたいセンナ茎を原材料に使用した「健康食品」について、再度、センナに由来する下剤成分であるセンノシドの含量がどの程度なのか、「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」（以下「専ら医薬品として使用される原材料」とする）を含んでいないかを調べる。また、センナは輸入に依存した植物であることから、微生物、異物混入などの衛生面や、残留農薬の値を調べるとともに、「ダイエット」などの効果を期待させるような表示に問題がないか調べ、消費者に情報を提供することとした。

1) 「いわゆる健康食品」とは、食品の中でも、厚生労働省の保健機能食品制度の下で一定の条件を満たすものとして販売を認めている「保健機能食品」以外の、一般に、「健康の保持増進に資する食品として販売・利用されるもの」を指す。

2) 「オナカをきれいに」、「ダイエット」、「スッキリ」等の表示があるものの中から、「センナ茎」の原材料表示がある茶類24銘柄、錠剤9銘柄についてテストした。

2. テスト実施期間

検体購入：2004年12月～2005年1月

テスト期間：2005年1月～6月

3. センナについて

センナは、古くアラビアの医師によって使用された生薬で、欧米諸国では繁用している緩下薬³⁾であり、日本においても日本薬局方⁴⁾に記載されている（表 2 参照）。日本薬局方記載センナとは、*Cassia angustifolia* Vahl（チンネベリ・センナともいう）又は*Cassia acutifolia* Delile（アレキサンドリア・センナともいう）の小葉であり、現在日本では主にインドから輸入した前者を使用している。主な下剤成分としてセンノシドが知られている。

一方でセンナは部位によって、食品としても使用することができる。センナの茎は、薬事法において「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」とされており、広く食品に使用されている（表 1 参照）。

3) 中程度の強さの下剤。すなわち服用して糞便を粥状に柔らかくし、度々排泄させる下剤。

4) 薬事法第 41 条により、医薬品の性状及び品質の適正を図るため、厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定めた医薬品の規格基準書。2005 年 8 月現在、第十四改正第二追補までが公示されている。



表 1. センナの成分本質について

専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）	果実、小葉、葉柄、葉軸
医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）	茎
主な下剤成分	センノシド

備考) 薬事法では、成分本質（原材料）は、「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」と、「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に分けられている。前者は原則として食品には使用できない。

表 2. センナの医薬品としての適用量に関する参考値

国	参照文献	適用量
日本	日本薬局方解説書（第十四改正）	本品は換算した生薬の乾燥物に対し、総センノシド（センノシドA及びセンノシドB）1.0%以上を含む。 緩下薬として、粉末を1回分量0.25～0.5g、1日1～3回服用する。
ドイツ	Commission E Monographs	センノシドBとして、1日あたり20～30mg。

4. テスト対象銘柄

神奈川県相模原市内のドラッグストアおよびインターネット等で販売されているセンナ茎を原材料に使用している茶類 15 銘柄、錠剤 5 銘柄をテスト対象とした。また、医薬品のセンナ 2 銘柄（茶類および錠剤）を参考品として加えた（表 3）。

表 3. テスト対象銘柄一覧

区分	銘柄名	製造者(元)、販売者または発売元	内容量	購入価格 税込み(円)	原材料	
茶類	1	ダイエット減肥茶☆	井藤漢方製薬㈱	120g(5g×24袋)	398	グアバ葉、山査子、ハトムギ、ハブ茶、プアール茶、ギムネマ・シルベスタ、キダチアロエ、杜仲葉、 <u>センナ茎(食品用)</u>
	2	だせ!だせ!ドッカ ンダイエット減肥茶	㈱ケイセイ	90g(3g×30p)	589	桑葉、プアール、ハブ、サラシア、アロエ、緑茶、 <u>センナ(食用)</u>
	3	センナ茎茶☆	㈱健民社	150g(5g×30包)	1,417	はぶ茶、 <u>センナ茎末</u> 、はと麦、ウーロン茶
	4	そう快通茶	㈱シーアイフーズシ ステムズ ㈱ティー・エイチ・ ティー	150g(5g×30袋)	732	ハブ茶、 <u>センナ茎</u> 、ドクダミ、トウキシ、カンゾウ、キダチアロエ
	5	ケイシンラク バランスングティ (紫蘇の葉入り)☆	㈱シャルマン水野	2.6g×60袋	4,074	サナムクヒの茎(食品用)、シソの葉、紅茶、エビスグサの種子、 <u>ワンシュウミカンの皮</u> 、オオバコの種子、カキドウシ、トウキシ
	6	めざせ体脂肪 -8%	昭和商事㈱	90g(3g×30包)	522	プアール茶、ハブ茶、 <u>センナ茎</u> 、ハトムギ、杜仲葉、ギムネマシルベスタ葉、サラシアレティキュラータ、唐辛子、キトサン
	7	でるでるMAX	昭和製薬㈱	107.8g(7.7g× 14ティーバッグ)	766	はぶ茶、 <u>センナ太茎(食用部位)</u> 、玄米、ガルシニア、みかんの果皮、キトサン(かに由来)、ゴヤー
	8	朝の宅配便ニュー マックス☆	昭和製薬㈱	168g(7g×24 ティーバッグ)	999	はぶ茶、 <u>センナ太茎(食用部位)</u> 、チョコレート、ダンディライオン、ヘリアンツス・ツペロス
	9	ゲンピ茶	㈱新日健	90g(3g×30袋)	1,575	プアール茶、ハブ茶、キダチアロエ、ローズヒップ、サンザシ、 <u>センナ茎</u>
	10	三美花減肥茶☆	㈱新日健	300g(5g×60袋)	3,654	ハマナス、ダイダイ、ジャスミン、ハブ茶、プアール茶、 <u>センナ茎(食品用)</u>
	11	美通茶	原沢製薬工業㈱	160g(5g×32 パック)	3,150	ハトムギ、エビスグサ、麦芽、 <u>センナ茎</u> 、キダチアロエ、マルベリー、ドクダミ、麻の実、羅漢果、ギムネマシルベスタ
	12	ドーンとスリム茶	㈱マーキュリー	90g(3g×30包)	732	エビスグサ、ハトムギ、 <u>センナ茎</u> 、コリアンダー、バナバ、パープルヤム
	13	通快減肥茶	マンナンフーズ㈱	240g(4g×60袋)	1,029	杜仲葉、ハトムギ、大麦、エビスグサ、 <u>センナ茎</u> 、黄杞葉、どくだみ葉、六保茶、ガルシニア・カンボジアエキス
	14	通々通茶	山本漢方製薬㈱	300g(15g×20 袋)	1,344	ハトムギ、ハブ茶、ウーロン茶、 <u>センナ茎(食品用部位)</u> 、どくだみ、難消化性デキストリン、冬葵の実、玄米、キダチアロエ、有胞子性乳酸菌
	15	ガッツであと-10kgダ イエットティー☆	ユウキ製薬㈱	3g×38包	714	プアール茶、 <u>センナ茎</u> 、ハブ茶、ハトムギ、杜仲茶、黄杞茶、ギムネマシルベスタ、ガルシニア
錠剤	16	めっちゃ燃やせる粒 ☆	井藤漢方製薬㈱	37.5g(250mg×5 粒×30袋)	999	乳糖、ガルシニアエキス、ギムネマシルベスタエキス、 <u>センナ茎エキス(食品用)</u> 、ハブ茶エキス、トウガラシエキス、デキストリン、セルロース、ショ糖エステル
	17	スリムドカン	㈱銀座まるかん若返 り対策研究所	80g	5,250	ハブ茶末、 <u>センナ茎末</u> 、 <u>センナ茎エキス末</u> 、キダチアロエ葉末、オオバコ種子末、忍冬、明日葉末、米胚芽・植物発酵抽出物、ハトムギ末、キトサン、昆布末、スギナ末、ギムネマエキス末、ボレップ末、VC、VE、VB ₁ 、VB ₂ 、VB ₁₂ 、無臭にんにく末、小麦抽出物、カキ殻末、ショ糖エステル、乳糖、塩化ナトリウム、緑茶抽出物、ペプチン、デキストリン
	18	センナ茎粒	㈱健民社	90g(250mg×約 360粒)	1,764	<u>センナ茎末</u> 、ギムネマシルベスタ葉末、結晶セルロース、ナタネ油
	19	おなかスッキリしな くっちゃ粒☆	㈱タキザワ漢方廠	7.5g(1粒250mg ×30粒)	336	<u>センナ茎</u> 、キチン・キトサン、海藻ヒバマタ、アスコルビン酸、ニコチン酸アミド、V.A、V.B ₁ 、V.B ₂ 、V.D、ヘム鉄、結晶セルロース、しょ糖エステル、セラック
	20	便の達人 粒☆	ニッショク㈱	33g(125粒相当/ 約25日分)	2,940	キダチアロエ、乾燥ビール酵母、ビワの葉末、桃の花、桑の葉末、ウーロン茶、マテ茶、アオイの葉末、ビタミンB群、桂皮(シナモン)、アガリクス茸末、ハスの葉末、クロム、パンシヤクキ、サイリウム、クエン酸、カキの葉末、ハブ茶、キトサン、パパイアピール(皮)、緑茶末、オレンジピール(皮)、ドクダミ、オリゴ糖、ビタミンC、結晶セルロース、なたね油脂肪粉末
参考品 (医薬品)	A	山本漢方 センナ 「分包」☆ (茶類)	山本漢方製薬㈱	144g(3g×48包)	399	1日量 1包(3.0g)中 <u>日本薬局方センナ3.0g</u>
	B	センナ錠 (錠剤)	皇漢堂製薬㈱	120錠	1,029	1日量(10錠)中 日局センナ末 <u>1,500mg</u> 、添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、セルロース、タルク、ステアリン酸Mg

☆マークは、テストした製品と2005年7月現在販売されている製品とで表示が異なるもの。(2005年7月現在)

備考1) 購入価格は、2005年7月に店頭もしくはインターネットにおける購入価格を調査した時のものを記載した。

備考2) このテスト結果は、テストのために購入した商品のみに関するものである。

備考3) 原材料中に下線が引いてあるものは、センナ茎に関する表示。

5. 概要

ダイエットなどをうたいセンナ茎を原材料に使用した「健康食品」20 銘柄について、センナの成分で下剤としての作用があるセンノシドの含量を中心に、微生物、異物混入などの衛生面や残留農薬の値、表示についても調べた。

1) 下剤成分（センノシド）について

● 20 銘柄中 18 銘柄で下剤成分であるセンノシドが検出され、摂り方によっては 14 銘柄で下剤としての生理作用を及ぼす可能性のある量のセンノシドを摂ることが分かった

センナの下剤成分であるセンノシドが含まれている銘柄が 20 銘柄中 18 銘柄あり、茶類では 1 日に 2 回飲んだ場合や、錠剤では摂取目安量の範囲内でも、下剤としての生理作用を及ぼす可能性のあるものが 14 銘柄あった。

● 「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が茶類の 3 銘柄から検出された

薬事法において、食品として使用されることが認められている部位の茎以外に、「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が 20 銘柄中 3 銘柄で検出され、薬事法上問題となる可能性があると思われた。

● 茶類は形態鑑別が困難なほど細かく砕けているものが多く、また「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が検出された銘柄のセンノシド量が多いわけではなかったことから、下剤としての生理作用の有無はセンノシド量を測定しないと分からなかった

今回の対象銘柄は、形態鑑別が困難なほど細かく砕けているものが多く、原材料として表示のある茎ですら検出できないものが 8 銘柄あったことや、葉軸が検出された 3 銘柄で単位量当たりのセンノシド量が特に多いとは言えなかったことなどから、センノシドによる下剤としての強い生理作用の有無を確かめるには、センノシド量を測定する必要があると考えられた。

● 前回テストの商品と比べた際、単位量当たりのセンノシド量は全体としては低かったが、形態鑑別が不可能な錠剤では前回テストの商品と同程度多い量のセンノシドが含まれていたものもあった

6 年前に実施した商品テストの結果と比較すると、特に高濃度のセンノシドを含むものは減り、商品群全体では単位量当たりのセンノシド量は低くなっていたが、形態鑑別が不可能な錠剤では、前回テストの商品と同程度多い量のセンノシドが含まれていたものもあった。

● やかんで煮出したり、ティーバッグを浸ける時間を長くしたものを飲むと、センノシドを多く摂る可能性があることが分かった

茶類は、ティーバッグを急須等に入れて熱湯を注ぐ、やかんで煮出す等の入れ方があるが、具体的な入れ方の表示がない銘柄もあったため、入れ方を変えてセンノシド量を調べたところ、やかんで煮出したり、ティーバッグを浸けておく時間を長くするとセンノシドを多く摂る可能性があった。

2) 衛生面について

● 品質管理上、不衛生な環境で製造されたと考えられるものがあった

法律違反や直接的に身体的影響があるとは考えられないが、一般細菌が多く検出されたものがあったり、茶類 15 銘柄のうち 5 銘柄でダニや昆虫片などの動物性異物が検出されるなど、品質管理上不衛生な環境で製造されたのではないかと考えられる銘柄が見られた。

3) 残留農薬について

● 農薬（総 BHC、総 DDT）の残留は基準値以下であった

薬局方の「センナ」や食品衛生法の「茶」に基準のある総 BHC および総 DDT の測定を行ったところ、全銘柄とも基準値以下であった。

4) 表示について

● 「ダイエット」効果に関する表示が多数見られた。また、18 銘柄から下剤成分であるセンノシドが検出されているにもかかわらず、体調に関する表示は少なかった

銘柄名やその他の表示で、「ダイエット」効果に関する表示が 15 銘柄に見られた。また、18 銘柄から下剤成分であるセンノシドが検出されているにもかかわらず、「便が緩くなることがある」等の体調に関する表示は少なかった。

6. テスト結果

1) 下剤成分（センノシド）について

センナ茎は食品として使用されているが、センナ茎を原材料としている茶類、錠剤について、下剤成分であるセンノシド⁵⁾が含まれているかどうか、また、「専ら医薬品として使用される原材料」の果実、小葉、葉柄、葉軸が入っていないかどうかを調べることにした。

(1) 1日あたりに摂るセンノシド量

20 銘柄中 18 銘柄で下剤成分であるセンノシドが検出され、摂り方によっては 14 銘柄で下剤としての生理作用を及ぼす可能性のある量のセンノシドを摂ることが分かった

センナの下剤成分であるセンノシドの含有量を調べた結果、今回対象とした 20 銘柄は、食品であるセンナ茎を原材料としているものの、18 銘柄（茶類 13 銘柄、錠剤 5 銘柄）で下剤成分であるセンノシドが検出された（図 2 参照）。

なお、今回テストした銘柄のうち、茶類では 15 銘柄中 12 銘柄に急須等（マグカップやティーポットを含む）での入れ方に関する表示があったため、急須等で熱湯の量やティーバッグを浸す時間の表示があるものはそれに従い、表示がないものは、熱湯 300mL、3 分間の条件で入れ、1日に1~2回飲んだ場合にどのくらいセンノシドを摂るかを調べた。一方、錠剤はいずれも1日の摂取目安量の表示があったため、この目安量当たりのセンノシド量を調べた（表 4 参照）。

また、日本薬局方でセンナ（医薬品）は「センノシドの含有量が 1.0%以上」とされており、日本薬局方解説書には「緩下薬として、粉末を 1 回分量 0.25~0.5g、1日 1~3 回服用する」と記載されているため、これらの数値をもとに計算すると、生理作用を及ぼす最低量は 1日 2.5mg⁶⁾と考えられるのでこれと比較することとした。

表 4. 1日の摂取目安量と入れ方の表示

区分	銘柄	1日の摂取目安量	入れ方	
			急須等で入れる設定 (熱湯量、浸ける時間の具体的な表示 <1包に対して>)	やかんで煮出す設定 (熱湯量、煮出す時間の具体的な表示 <1包に対して>)
茶類	1	無	有	無
	2	無	有	有 (400~600mL、5~10分)
	3	無	有	有 (1000mL、10分)
	4	1日1~3包が目安	有	有 (1000mL)
	5	無	有 (150~180mL)	無
	6	無	無	有 (1000mL、2~3分)
	7	1日1~2包が目安	有 (200~300mL、5分)	無
	8	1日1~2包が目安	有 (200mL、3~5分)	無
	9	無	有 (1分)	有 (1000mL、5分)
	10	無	有	有 (400~600mL、5~10分)
	11	毎日1.5L (1包分) 程度を目安に	無	有 (1500~2000mL、3分)
	12	無	無	有 (1500mL、3~5分)
	13	無	有 (1~2分)	無
	14	1日1包が目安	有	有 (600~800mL、5分)
	15	無	有 (2~3分)	有 (500~1000mL、2~3分)
錠剤	16	1日当たり1袋(5粒)を目安に	該当しない	
	17	目安として3~12粒を1日数回に分けて		
	18	1日に5~6粒を目安に		
	19	1日10粒程度を2回位に分けて		
	20	1日5~6粒程度		
参考品 (医薬品)	A (茶類)	1包を煮出した液の1/2量~全量	無	有 (150mL、15分)
	B (錠剤)	1回3~5錠 1日2回を限度	該当しない	

その結果、茶類では、急須等で入れた全量を1日1回飲んだ場合、センノシド量が下剤としての生理作用を及ぼす可能性のある2.5mgを超えたものが15銘柄中5銘柄(1、2、5、7、8)あった。また、1日の摂取目安量が15銘柄中5銘柄(4、7、8、11、14)しか表示されていなかったため2回飲むことを考えると、2.5mgを超えるものは11銘柄に増加した。一方、錠剤では、表示にある最大摂取目安量を摂った場合に、センノシド量が2.5mgを超えるものは5銘柄中3銘柄(17、18、20)あった。

さらに、今回テストした参考品(医薬品)のセンノシドを測定したところ、用法用量から読みとることのできる1日の服用量(医薬品の場合、摂取する量のことを「服用量」という)当たりのセンノシド量は、銘柄A(茶類)では最小11.6mg、最大23.2mg、銘柄B(錠剤)では最小5.6mg、最大18.5mgであった。これと今回の銘柄を比較すると、お茶を入れて2回以上飲んだ場合や、錠剤で1日の最大摂取目安量を摂った場合には、医薬品1日の最小服用量当たりのセンノシド量を超えてしまうものがあることが分かった。

なお、薬事法の瀉下薬(下剤)の製造(輸入)承認基準に規定されているセンノシドの1回最大分量16mg、1日最大分量48mgを超えるものはなかった。

5)センナにはセンノシドA、B、C、Dの含有が報告されているが、日本薬局方ではセンノシドAおよびBを総センノシドとして成分含量を定めている。今回は日本薬局方に準じて総センノシドを測定しているが、単にこれをセンノシドと記載している。

6)センノシド含量1.0%のもの0.25gを1日1回服用した時の値。

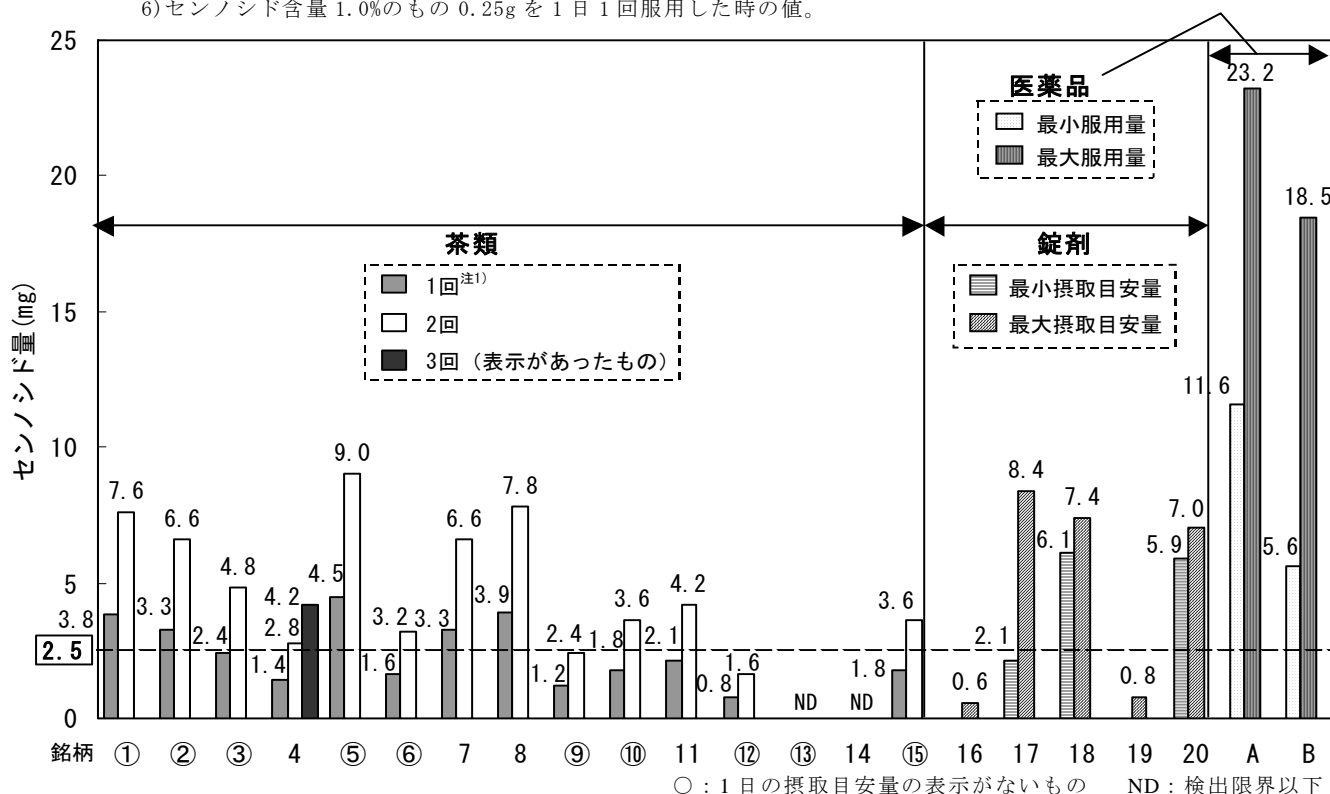


図2. 1日あたりに摂るセンノシド量

2.5mg : センノシドが生理作用を及ぼす可能性があると思われる最低量。日本薬局方のセンナ(1.0%以上のセンノシドを含むことが規定されている)を、適用される最小量(0.25g:日本薬局方解説書より)服用した際に摂るセンノシド量を試算した値。

注1) 急須等で入れる設定で、具体的な表示のあるものは表示に従って入れたもの(熱湯量、時間の幅のあるものについては、最大値で行った)、ないものについては1包を300mLの熱湯で3分間浸したものの全量を1回で飲むと考えた。なお、参考品Aについては煮出す条件で行った。

(2) センナの形態鑑別

「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が茶類の3銘柄から検出された

下剤として生理作用を及ぼす可能性があるセンノシド量を含むものがあつたことから、「専ら医薬品として使用される原材料」である小葉、葉軸等が入っているかどうかを調べるために、形態鑑別を行った。

その結果、茶類の3銘柄から「専ら医薬品として使用される原材料」の葉軸が検出され、薬事法上問題となる可能性があると思われた。ただし、この3銘柄で特に単位量当たりのセンノシド量が多いとは言えなかった。

なお、葉軸が検出された3銘柄については厚生労働省に通知し、所管の自治体において調査が実施された。その結果、葉軸の検出割合が少ないこと、センノシド量が他の銘柄と比べ特に多くないことなどから、違反措置はとられず、メーカーによる自主的な回収が行われた。

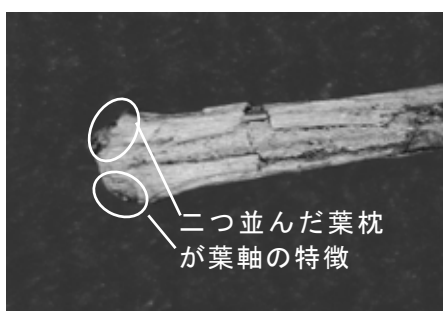


写真1. 検出されたセンナ葉軸

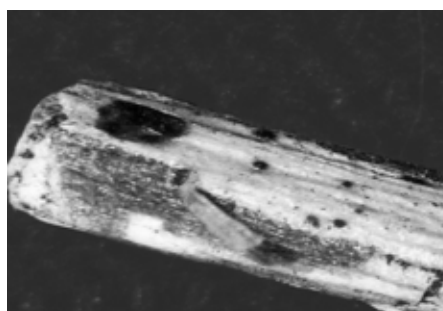


写真2. 検出されたセンナ茎

表5. センナの形態鑑別結果と単位量当たりのセンノシド量

区分	銘柄	茎	単位量当たりのセンノシド量 (mg/g) 注1)
茶類	1	—	1.4
	2	検出	2.0
	3	検出	0.9
	4	—	0.9
	5	—	2.1
	6	—(造粒物)	0.6
	7	検出	1.0
	8	検出	1.3
	9	検出	0.9
	10	—(造粒物)	1.0
	11	検出	1.0
	12	検出	0.5
	13	—	ND
	14	—	ND
	15	—(造粒物)	0.7
錠剤	16	—	0.5
	17	—	2.8
	18	—	4.9
	19	—	0.3
	20	—	4.5
参考品 (医薬品)	A(茶類)	実施せず	14.9
	B(錠剤)		7.4

— : 細かく砕けており確認不可能 ND : 検出限界以下

注1) 単位量当たりのセンノシド量は、通常飲む状態(水)の抽出方法ではなく、日本薬局方の成分含量測定法に準じた方法により算出した値である。

茶類は形態鑑別が困難なほど細かく砕けているものが多く、また「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が検出された銘柄のセンノシド量が多いわけではなかったことから、下剤としての生理作用の有無はセンノシド量を測定しないと分からなかった

今回の対象銘柄の中で、錠剤は通常、原材料を粉状にして成形されるため形態鑑別は困難であったが、茶類であっても原材料が細かく砕けており、原材料として表示されている茎ですら検出できないものが 8 銘柄（1、4、5、6、10、13、14、15）あった（表 5 参照）。そして、葉軸が検出された 3 銘柄は単位量当たりのセンノシド量が特に多いとは言えないこと、錠剤でも単位量当たりのセンノシド量が多いものがあったことなどと合わせて考えると、センノシドによる下剤としての生理作用の有無を確かめるには、センノシド量を測定する必要があると考えられる。

なお、原材料が細かく砕けていたために茎が検出されなかったもののうち、3 銘柄（6、10、15）で植物粉末から造粒したと思われるもの（以後、造粒物とよぶ）が確認された（写真 3 参照）。そこで、この造粒物中のセンノシド量を測定したところ、3 銘柄すべてで比較的高い濃度のセンノシドが検出されたほか、製品全体に対して造粒物由来のセンノシド量の割合も 39～100 % と高かった。（表 6 参照）。

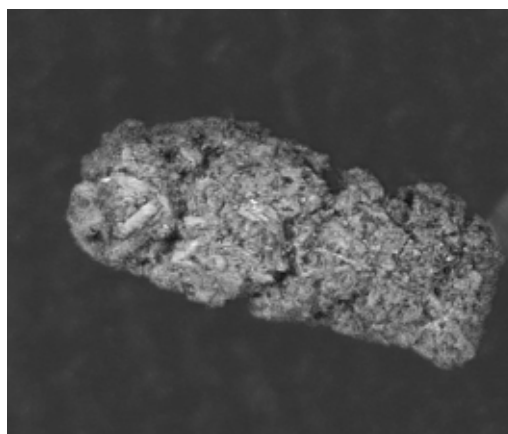


写真 3. 確認された造粒物

表 6. 造粒物中のセンノシド量

銘柄	1包当たりの重量 (g)		単位量当たりのセンノシド量 (mg/g) ^{注1)}		全体に対する造粒物由来のセンノシド量の割合 (%)
	全体	造粒物	全体	造粒物	
6	3.4	0.4	0.6	5.1	100
10	5.1	0.4	1.0	5.0	39
15	3.0	0.4	0.7	5.0	95

注 1) 単位量当たりのセンノシド量は、通常飲む状態（水）の抽出方法ではなく、日本薬局方の成分含量測定法に準じた方法により算出した値である。

(3) 前回テストとの比較

前回テストの商品と比べた際、単位量当たりのセンノシド量は全体としては低かったが、形態鑑別が不可能な錠剤では前回テストの商品と同程度多い量のセンノシドが含まれていたものもあった

前回と今回のテストでは対象銘柄が同じではないため、商品個々の比較ではなく全体的な傾向を見た。

前回テストでは、センナ茎配合茶類 24 銘柄すべてで葉軸が検出され（6年前は「専ら医薬品として使用される原材料」ではなかった）、小葉等も多くの銘柄で検出された。一方、今回のテストでは、茶類 15 銘柄中 3 銘柄で葉軸が検出されたが、原材料が細かく砕けていたことから、形態鑑別で部位の確認が困難なものが多かった。そのため、下剤成分であるセンノシド量で前回のテスト結果と比較することとした。比較にあたっては、茶類も含め、実際に飲食する状態での含有量ではなく、含まれている全量を有機溶媒で抽出して調べた。

その結果、単位量当たりのセンノシド量で比較すると、前回テストでは医薬品に相当するセンノシド量である 10mg/g（日本薬局方のセンナ〔医薬品〕はセンノシドの含有量が 1.0%以上としている）近くを含有するものが数銘柄見られたが、今回はそのような銘柄は見られなかった（図 3 参照）。また、平均値で単位量当たりのセンノシド量を比較すると、茶類では 3.0mg/g から 1.0mg/g、錠剤では 3.6mg/g から 2.6mg/g と、今回の方が減少していた。しかし、医薬品に相当する含有量の銘柄を除くと、錠剤では前回と同程度多い量のセンノシドが含まれていたものもあった。

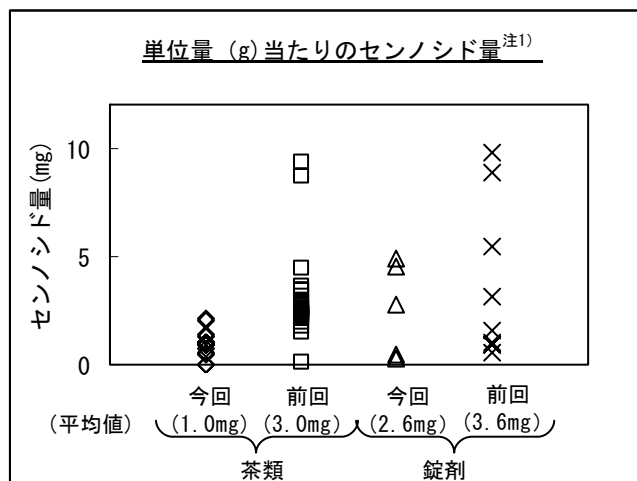


図 3. 前回のテスト結果とのセンノシド量の比較

注1) 単位量当たりのセンノシド量は、通常飲む状態（水）の抽出方法ではなく、日本薬局方の成分含量測定法に準じた抽出方法により算出した値である。

(4) 茶類の入れ方によるセンノシド量の違い

やかんで煮出したり、ティーバッグを浸ける時間を長くしたものを飲むと、センノシドを多く摂る可能性があることが分かった

茶類には、入れ方の表示があり、急須等にティーバッグを入れて熱湯を注ぐ方法と、やかんで煮出す方法があった。しかし、熱湯の量と時間が明確に記載されていたものは、急須等の場合は15銘柄中2銘柄、やかんの場合は15銘柄中9銘柄であった。そこで、入れ方の条件を変えることにより、摂る可能性のあるセンノシド量がどれくらい異なるのかを調べた。なお、前記(1)の方法で入れ、1回飲む場合と比較した。

①やかんで煮出す場合

15銘柄中10銘柄でやかんを用いた場合の入れ方が表示されていたため、表示のあるものについては表示に従い⁷⁾、ないものについては1000mLの熱湯にティーバッグ1包を入れ10分間弱火で煮出した。

その結果、やかんで煮出した全量を飲んだ場合、急須等で入れた場合と比べて、すべての銘柄でセンノシド量が多くなった(図4)。ただし、やかんの場合は、400~1,500mLの水で入れたため、大量の水で入れたものは1日で全量を飲みきれないこともあると考えられる。

7) 表示に幅のあるものは、熱湯量は最小量、煮出す時間は最大時間で行った。

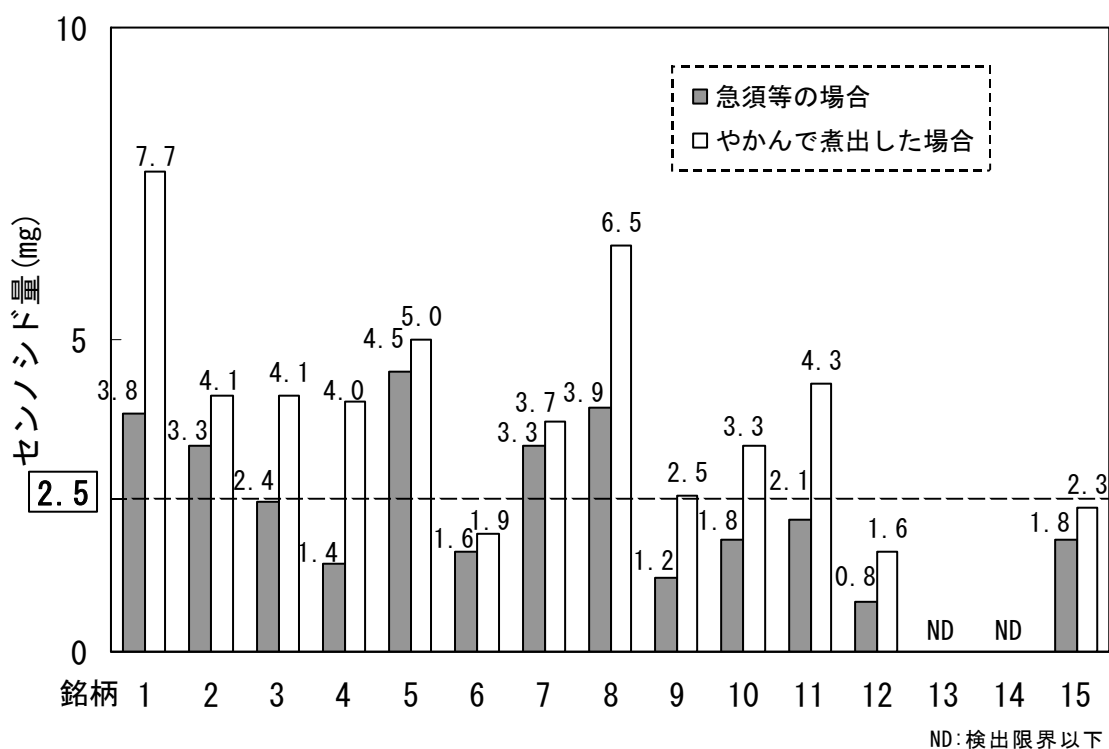


図4. 入れ方によるセンノシド量の違い

②時間を2倍にした場合

急須等に入れる場合、ティーバッグを浸けておく時間が記載されていないものが多かったため、前記(1)で入れた条件の時間を2倍にして、センノシド量の違いを調べた。なお、時間の表示のないもの2銘柄(通常時間を3分間に設定したもの)と、時間の表示があり、浸す時間が長い2銘柄(5分間の表示があるもの)を選んでテストした。

その結果、すべての銘柄で、摂るセンノシド量が多くなる傾向にあった(図5参照)。その際、銘柄4、5については時間の目安がないため、消費者はテスト時間よりも更に長い時間ティーバッグを浸けておく可能性もあると考えられる。

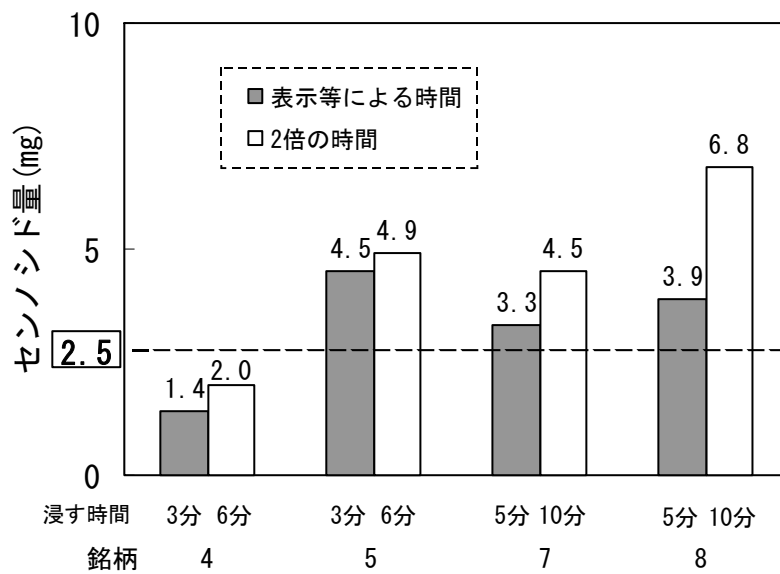


図5. 2倍の時間にした時のセンノシド量(1回当たり)

2) 衛生面について

品質管理上、不衛生な環境で製造されたと考えられるものがあった

センナは輸入に依存した植物であることから、生産、貯蔵、製造、流通の過程で不衛生な環境や取扱い方がされていないかを調べた。

(1) 微生物について

食品の微生物の汚染指標としてよく用いられる一般細菌数、および大腸菌群について調べた。なお、今回の銘柄のような「健康食品」には、食品衛生法において微生物に関する基準はない。

テストの結果、錠剤では、銘柄 20 を除いて、一般細菌数は 1g 当たり 300 個以下であり大腸菌群も陰性であったことから、十分に乾燥した環境で衛生的に保管する限り、問題ないと考えられる(表 7 参照)。銘柄 20 は、1g 当たり 1.3×10^5 の一般細菌が検出され、大腸菌群も陽性であったことから大腸菌について調べたところ、結果は陰性であった。このため、身体に重大な影響を及ぼすとは考えにくいですが、製造等の段階で不衛生な環境にあったと考えられる。

一方、茶類では、15 銘柄中 13 銘柄で茶葉 1g 当たり $4.3 \times 10^3 \sim 2.9 \times 10^5$ の一般細菌が検出された(表 7 参照)。しかし、茶類では茶葉をそのままの形で摂るわけではないので、急須等の入れ方(1包(2.6~15g)を 150~300mL の熱湯で作る)の表示に従って入れた液を調べることとした。その際、電気ポットの湯を使って茶を入れる場合は湯の温度が低いこともあるので、低温(80℃)の湯で入れたもの(茶葉で比較的一般細菌数が多かった銘柄 3、5、6 について)と、水出しの設定がある銘柄 12、14 については、水出ししたものも併せて調べた。

表 7. 一般細菌数および大腸菌群

区分	銘柄	殺菌表示	一般細菌数 (個/g)	大腸菌群
茶類 (茶葉)	1		7.0×10^4	陰性
	2		1.4×10^5	
	3		4.4×10^4	
	4		300以下	
	5		2.9×10^5	
	6		9.0×10^4	
	7	○	7.0×10^3	
	8	○	300以下	
	9	○	3.5×10^4	
	10		5.0×10^4	
	11		1.9×10^4	
	12		7.7×10^4	
	13		6.9×10^4	
	14		4.3×10^3	
	15		7.2×10^4	
錠剤	16		300以下	陽性
	17			
	18			
	19			
	20			

備考 1) $1.0 \times 10^3 = 1,000$ $1.0 \times 10^4 = 10,000$ $1.0 \times 10^5 = 100,000$

備考 2) 1g 当たり 300 個以下の場合、非常に少数であり、実験誤差と区別がつかないことから、コロニー数を計測せず、一律 300 以下と表記した。

その結果、熱湯（沸騰水）で入れた時には、銘柄 5 を除き一般細菌数が 1g 当たり 300 個以下であり、低温の湯（80℃）で入れた場合にも同様の結果となったので、入れた後すみやかに飲用すれば問題ないと考えられる（表 8 参照）。また、水出しした場合についても、銘柄 12、14 とともに一般細菌数は 1g 当たり 300 個以下であったので、冷蔵庫で保存して、短時間で飲用すれば問題ないと考えられる。銘柄 5 については、熱湯、低温の湯のいずれで作った場合も 1g 当たり数千個程度の一般細菌が検出されたので、すぐに身体に影響を及ぼすとは考えにくいですが、製造等の段階で不衛生な環境にあったと考えられる。

なお、「加熱殺菌済」「赤外線にて焙煎殺菌しております」等、殺菌処理をしている旨の表示が 3 銘柄（7、8、9）で見られたが、銘柄 7、9 については、表示のない他の銘柄と比べて大きな差はみられなかった。

表 8. 茶（入れた液）中の一般細菌数および大腸菌群

入れ方	銘柄	一般細菌数 (個/g)	大腸菌群
熱湯（沸騰水） (1包<2.6~15g>を150 ~300mLで入れる)	1	300以下	陰性
	2		
	3		
	4		
	5	2.6×10^3	
	6	300以下	
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
低温（80℃）の湯 ^{注1)}	3	300以下	
	5	4.0×10^3	
	6	300以下	
水出し ^{注2)}	12	300以下	
	14		

注 1) 茶葉の結果（表 7）で比較的一般細菌数の多かったものから選んだ。

注 2) 水出しの入れ方の表示があったもの

(2) 異物について

茶類については、鉱物性異物、動物性異物の有無を調べた。その結果、法律的には問題ないが、15 銘柄中 5 銘柄で昆虫片やダニなどの動物性異物が検出された（表 9 参照）。茶類はティーバッグに小分けされていることから、製造やそれ以前の段階で不衛生な環境にさらされたと考えられる。ただし、茶葉は不織布でできたティーバッグに入っているため、抽出液に動物性異物が移行する可能性は低い。なお、錠剤は通常、原材料を粉状にして成形されるため、異物の有無を調べることは不可能であった。

表 9. 茶類中に検出された異物

銘柄	動物性異物	鉱物性異物
1	+ (昆虫片 ^{注1)})	検出せず
2	検出せず	
3		
4		
5		
6	検出せず	
7		
8		
9		
10	検出せず	
11		
12		
13	+ (昆虫片、ダニ)	
14	検出せず	
15	+ (昆虫片)	

注 1) 昆虫片とは、ダニ以外の昆虫の足や胸などのことを指す。
昆虫の種類については特定していない。

備考) 同じ賞味期限のもの 2 検体について調べ、
2 検体とも検出されたものについて、下記のように示した (10g 当たり)。
+ : 検出された (1~5 片) ++ : 検出された (6~10 片)

3) 残留農薬について

農薬 (総 BHC、総 DDT) の残留は基準値以下であった

薬局方「センナ」および、食品衛生法の「茶」に基準のある総BHCおよび、総DDT⁸⁾の測定を行った。なお、基準値は薬局方、食品衛生法ともに総BHC 0.2ppm以下、総DDT 0.2ppm以下である。

その結果、総 BHC はすべての銘柄で検出されず、総 DDT は 4 銘柄から 0.01~0.07ppm の範囲で検出されたが、基準値以下であり問題ないと考えられる (表 10 参照)。

8) BHC、DDT ともに有機塩素系農薬であり、すでに国内での販売や使用が禁止されているが、分解されにくく、残留性が高い。総 DDT は *p,p'*-DDT 等、4 種類の合計。総 BHC は α -BHC 等、4 種類の合計。

表 10. 農薬 (総 BHC、総 DDT) の残留

区分	銘柄	総DDT	総BHC
茶類	1	ND	ND
	2		
	3		
	4		
	5	0.03	
	6		
	7	ND	
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15	0.02	
錠剤	16	ND	
	17	0.01	
	18		
	19		
	20	0.07	

ND : 検出限界以下

4) 表示について

(1) 「ダイエット」等の効果に関する表示が多数見られた

銘柄名やその他の表示で、「ダイエット」効果に関する表示が 15 銘柄で見られた。そのうち、「ダイエットのポイントは、いかに楽しんでスピーディーに結果を出すか！勝負は 1 回！絶対に負けたくないあなたに〇〇〇をお勧めします。・・・」など、摂るだけで「ダイエット」効果が現れるかのような断定的な表現や、「目標 10kg」、「めざせ体脂肪-8%」、「あと-10kg」など、具体的な数値を出して「ダイエット」効果を強調する表示も見られた。

また、「便通促進」効果に関する表示が半数近くの銘柄に、原材料や品質が優れている旨の表示が数銘柄に見られた（参考資料 1 参照）。

(2) 「加熱殺菌済」等、殺菌処理をしている旨の表示が 3 銘柄にあったが、そのうち 2 銘柄では他と比べて特に衛生的という結果ではなかった

「加熱殺菌済」「赤外線にて焙煎殺菌しております」等、殺菌処理をしている旨の表示が 3 銘柄（7、8、9）で見られた。しかし、銘柄 7、9 は、茶葉中の一般細菌数が 1g 当たり 7.0×10^3 ないし、 3.5×10^4 と他の銘柄と大きな差はなく、特に衛生的というわけではなかった。

(3) 原材料としてセンナのどの部位を使用しているのか表示していないものがあった

センナは部位によって医薬品として使用されるので、食品として使用する場合には使用部位まではっきりと明示するのが望ましいが、銘柄 2 では単にセンナ（食用）と表示しており使用部位が明確でなかった。また、センナの別名であるサナムクヒの茎（銘柄 5）、バンシヤクキ（銘柄 20）と表示しているものがあったが、これらは消費者にとってセンナ茎であることが分かりにくい表示であると思われる。

(4) 茶類では摂取量の目安がないものが多く、適当量の判断ができない

錠剤では 5 銘柄すべてに摂取目安量が表示されていたが、茶類では 15 銘柄中 5 銘柄しか摂取目安量が表示されていなかった。摂取量の目安がないと、どの程度が適量なのか分からないばかりか、過剰に摂取して下痢等の問題が生じることも考えられる。また、茶類では入れ方の表示がすべての銘柄で見られたが、「お湯を注いで適宜な色、香りがでましたらカップや湯呑みに注いでお召し上がりください」等、熱湯の量や時間がいまいちな表示が多く、入れ方によってはセンノシドを過剰に摂ってしまう可能性があると考えられる。

**(5) 18 銘柄から下剤成分であるセンノシドが検出されているにもかかわらず、体調に関する
注意表示が少ない**

18 銘柄で下剤成分であるセンノシドが検出され、下剤としての生理作用を及ぼす可能性があるが、「便が緩くなることがある」旨の表示をしたものは 5 銘柄にしか見られなかった。なお、「少量からの摂取開始」を表示したものは 3 銘柄、「子供は使用しない旨」の表示は 7 銘柄、「妊産婦は使用しない旨」の表示は 10 銘柄、「体質・体調に合わない場合に使用を中止する」旨の表示は 14 銘柄に見られた。(表 11 参照)。

表 11. 体調に関する注意表示

体調に関する注意表示	表示のある銘柄数 (全20銘柄)
便が緩くなる可能性がある旨の表示 ^{注1)}	5
少量からの摂取開始表示	3
子供は使用しない旨の表示	7
妊産婦は使用しない旨の表示	10 ^{注2)}
体質・体調に合わない場合に利用を中止する旨の表示	14

注 1) 飲み過ぎは、お腹をこわすもとになりますという表示を含む。

注 2) うち、2 銘柄は妊婦のみの表示。

備考) テストした製品に関する表示であり、2005 年 7 月現在販売されている製品とは一部異なる。

5) 内容量・価格について

1日の最大摂取目安量（茶類の場合は1包）当たりの費用を比べると茶類では最大約5.9倍、錠剤では最大約6.9倍の差があった

内容量の全量表示はすべての銘柄で見られた。また、茶類はすべての銘柄に1包当たりの重量の記載があり、錠剤は5銘柄中3銘柄で1粒当たりの重量の記載があった（表3参照）。

購入価格は、1パッケージ当たりの価格が、茶類では398～4,074円と10.2倍、錠剤では336～5,250円と15.6倍の差があった（表12参照）。また、1日の最大摂取目安量当たりの価格を比べると、茶類では16.6～98.4円と約5.9倍、錠剤では29.4～201.9円と約6.9倍の差があった。1日の最大摂取目安量当たりの茶類と錠剤の価格を比べると、茶類の方が安い傾向にあり、また医薬品と比べると茶類の医薬品がすべての銘柄で最も安かった。

表 12. 購入価格と内容量

区分	銘柄	内容量 (g) <small>注1)</small>	購入価格 税込み(円) <small>注2)</small>	1日の最大摂取目安量(茶類の場合 は1包) 当たりの費用(円) <small>注3)</small>	1パッケージの使いきりま での日数(最短) <small>注4)</small>
茶類	1	120	398	16.6	24
	2	90	589	19.6	30
	3	150	1,417	47.2	30
	4	150	732	24.4	30
	5	156	4,074	67.9	60
	6	90	522	17.4	30
	7	107.8	766	54.7	14
	8	168	999	41.6	24
	9	90	1,575	52.5	30
	10	300	3,654	60.9	60
	11	160	3,150	98.4	32
	12	90	732	24.4	30
	13	240	1,029	17.2	60
	14	300	1,344	67.2	20
	15	114	714	18.8	38
錠剤	16	37.5	999	33.3	30
	17	80	5,250	201.9	約26
	18	90	1,764	29.4	60
	19	7.5	336	112.0	3
	20	33	2,940	140.0	約21
(医参考品)	A(茶類)	144	399	8.3	48
	B(錠剤)	30	1,029	85.8	12

注1) 表示による値である。参考品 B については、内容量の表示がないため、1錠当たりの重さを測定し、錠数をかけて算出した値である。

注2) 購入価格は、2005年7月に店頭もしくはインターネットにおける購入価格を調査した時のものである。

注3) 購入価格を1パッケージの使いきりまでの日数で割って算出した値である。

注4) 茶類の場合は、1日1包を使うとして、錠剤の場合は内容量を1日の最大摂取目安量で割って算出した値。なお、割り切れない場合は切り捨てとし、「約～日」と記載した。

7. 消費者へのアドバイス

1) センナ茎は食品として使用可能な部位であるが、今回テストしたセンナ茎を使用した「健康食品」には下剤成分であるセンノシドがほとんどの銘柄に含まれていた。使用する際には少量から試して様子を見る

テストした20銘柄中18銘柄で下剤成分であるセンノシドが含まれており、使用方法によっては、ほとんどの銘柄で下剤としての生理作用を及ぼす可能性がある量のセンノシドを摂ることが分かった。

食品ではあるが、摂ることによって便が緩くなるなど体調を崩す可能性もあるので、使用する際には少量から試して様子を見た方がよい。また、体調に不安がある人は使用を控えるようにする。

2) 茶類は、やかんで煮出したり、ティーバッグを浸けておく時間を長くすると、下剤成分であるセンノシドを多く摂る可能性があるので注意する

茶類ではすべての銘柄で入れ方の表示が見られたが、「お湯を注いで適宜な色、香りがでましたらカップや湯呑みに注いでお召し上がりください」等、あいまいな表示が多く、熱湯の量と時間を具体的に表示していたものは、急須等の場合は15銘柄中2銘柄、やかんの場合は15銘柄中9銘柄であった。

テストの結果から、多量の熱湯を用いてやかんで煮出したり、ティーバッグを湯に浸けておく時間を長くすると、センノシド量が多くなることが分かった。入れ方によって下剤成分の量が異なり多く摂ってしまう可能性があるため、ティーバッグを浸けておく時間が長くなってしまった場合等には飲む量を減らすようにする。

3) 開封後の保存や、入れた後のお茶の保存には冷蔵庫に入れる等十分注意する

ティーバッグの茶葉自体には、一般細菌が多いもので1g当たり数十万個程度含まれており、錠剤にも一般細菌数の多いものが1銘柄あったことから、開封後の保存は高温・多湿を避けるなど気をつける。また、熱湯でお茶を入れても完全に殺菌されるわけではないので、早めに飲みきる。大量に入れて保存する場合には必ず冷蔵庫で保存する。

4) 「ダイエット」等の効果に関する表示が多く見られたが、今回のような「健康食品」の効果に関する表示は、科学的根拠に基づき公的に認められているものとは異なる

今回のテスト銘柄は、「ダイエット」等の効果に関する表示が数多く見られた。しかし、今回のような「健康食品」の効果に関する表示は、科学的根拠に基づき公的に認められているものとは異なる。そのことを知った上で、自分に本当に必要なのかどうかを考えて使用する。

8. 業界への要望

1) 「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が混入しているものが見られたので、改善を要望する

形態鑑別の結果、「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が茶類 15 銘柄中 3 銘柄に検出された。これらは、薬事法上問題となる可能性があると思われるので改善を要望する。また、20 銘柄中 18 銘柄で下剤成分であるセンノシドが含まれていたことから、原材料やセンノシド量についても、定期的な品質管理を行うよう要望する。

2) 摂り方によっては、下剤として生理作用を及ぼす可能性のあるような量のセンノシドを摂ることがあるので、注意表示を十分にするように改善を要望する

テストの結果、摂り方によっては下剤としての生理作用を及ぼすような量のセンノシドを摂ることがあるにもかかわらず、「便が緩くなることがある」旨の注意表示は 5 銘柄、「少量からの摂取開始表示」は 3 銘柄と少なかった。

また、茶類では、摂取目安量の表示がない銘柄や、入れ方によって抽出されるセンノシド量が異なってくるにもかかわらず、入れる際のお湯の量や時間の具体的な表示がない銘柄も見られた。

消費者に対する注意表示や茶類の摂取目安量、具体的な入れ方の表示等が不十分であったので、より一層分かりやすくなるように表示の改善を要望する。

3) より衛生的な環境での製造を、また殺菌処理などの表示の改善を要望する

一部の銘柄で、一般細菌数が多いものや大腸菌群が陽性となったものがあった。今回のような商品には細菌数について法律上の基準はないが、自主基準を作る等、より衛生的な環境で製造するよう改善を要望する⁹⁾。

また、殺菌処理をしている旨の表示が 3 銘柄にあったが、一般細菌が他の銘柄と同程度検出された銘柄もあったことから、表示の改善の検討を要望する。

9) 「錠剤、カプセル状等食品の適正な製造に係る基本的考え方について」（平成 17 年 2 月 1 日付け食安発第 0201003 号厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知）の中に、原料の受け入れから最終製品の出荷に至る全行程にわたって、一定の品質の製品を製造するための、衛生面を含む様々な規定を設け、それを守って製造するという考え方が示されている。

4) 「ダイエット」効果を強調した表示が見られたので根拠なく表示しないよう改善を要望する

摂るだけで「ダイエット」効果が現れるかのような断定的な表現や、具体的な数値を出して、「ダイエット」効果をかなり強調した表示が見られたが、近年、「健康食品」の表示に対する規制が強化されており、根拠なく表示している場合には景品表示法で規制の対象となる可能性があるため改善を要望する。

9. 行政への要望

1) 形態鑑別によってセンナの使用部位が確認できなかったものの中にも、下剤としての生理作用を及ぼす量のセンノシドを含むものがあったので、1日の摂取目安量の設定について、センノシド量を考慮し、十分な安全率を見込むよう指導を要望する

食品に「専ら医薬品として使用される原材料」であるセンナの葉軸などが含まれていないかどうかは、形態鑑別により調べられている。しかし、今回テストしたセンナ茎を使った商品の多くは、茶類であっても原材料が細かく砕けていたことから、形態鑑別が困難であった。さらに、形態鑑別によってセンナの使用部位が確認できなかった茶類や錠剤にも、摂り方によっては下剤として生理作用を及ぼす可能性のある量のセンノシドを摂ってしまうことが分かった。

また、茶類は1日の摂取目安量が表示されているものが15銘柄中5銘柄しかなく、入れ方によって摂るセンノシド量が異なるなど、摂取量には注意が必要であると思われる。

これらのことから、センノシドを過剰に摂ることによる健康被害の発生を予防するためには、1日の摂取目安量の設定においてもセンノシド量を考慮し、十分な安全率を見込むよう指導を要望する。

2) 「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が検出された銘柄があったので指導の徹底を要望する

「専ら医薬品として使用される原材料」である葉軸が3銘柄で検出され、薬事法上問題となる可能性があると思われるので、より一層の指導を要望する。

3) 「ダイエット」等の効果を強調した表示が見られたので、改善の指導を要望する

「ダイエット」効果に関する表示が多数の銘柄で見られたが、そのうち摂るだけで「ダイエット」効果が現れるかのような断定的な表現や、具体的な数値を出して「ダイエット」効果を強調したものも見られた。また、殺菌処理をしている旨の表示をしても一般細菌が他の銘柄と同程度検出された銘柄があった。これらの表示は、景品表示法上問題となる可能性があると思われるので、改善するよう指導を要望する。

10. テスト方法

1) 下剤成分 (センノシド*) について

*センノシドとはセンノシド A および B の合計を意味する。

(1) 1日あたりに摂るセンノシド量

A. 茶類

ティーバッグ 1 包に対して、急須等の設定に従って液を調整した。熱湯量やティーバッグを浸しておく時間の表示があるものについてはそれに従って調整したもの（熱湯量、時間に幅のあるものについては最大値で行った）、ないものについては、300mL の熱湯にティーバッグを 3 分間浸したものを HPLC 試料とした。なお、調整した量をすべて飲むとしてセンノシド量を算出している。また、熱湯とは今回のテストでは全て沸騰水を意味する。

B. 錠剤

錠剤を粉碎し、第十四改正 日本薬局方「センナ」の成分含量測定法に従って抽出したものを HPLC 試料とした。

C. 医薬品

参考品 A については、やかんに 150mL の湯を沸かし、その中にティーバッグを 1 包入れ、弱火で 15 分間煮出したものを HPLC 試料とした。参考品 B については粉碎し、第十四改正 日本薬局方「センナ」の成分含量測定法に従って抽出したものを HPLC 試料とした。

[HPLC 条件]

カラム：CAPCEL PAK C18 MG (φ 4.6 mm×250mm)

溶離液：薄めた pH5.0 の 1mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 (1→10) /

アセトニトリル混液 (17:8) 1000 mL に臭化テトラ-n-ヘプチルアンモニウム 2.45g を加えて溶かした。

カラム温度：50℃ 流速：1.2 mL/min

検出器：紫外可視分光光度計 測定波長：340nm

[検出限界]

茶葉、錠剤：0.2mg/g 茶 (入れた液)：1.5 μg/mL

(2) センナの形態鑑別

実体顕微鏡により、検体中に配合されているセンナの部位の鑑別を 1 箱から無作為に選んだ 3 包について行った。なお、表 5 で「検出」と表記しているものは、3 包すべてから検出されている。
(鑑定者：岐阜薬科大学 酒井英二 博士)

表 5 の単位量当たりのセンノシド量は、茶類についても熱湯で入れた液ではなく、錠剤と同様、粉碎した茶葉を第十四改正 日本薬局方「センナ」の成分含量測定法に従って抽出したものを HPLC 試料とした。HPLC 条件は上記 (1) に同じ。

造粒物については、他の原材料と選り分け、重量を測定し、錠剤と同様の方法でセンノシド量を測定した。

(3) 前回テストとの比較

6年前に実施した商品テスト「センナ茎等を利用したダイエット茶類」（1999年2月公表）においても、単位量当たりのセンノシド量を測定しているため、これと比較を行った。今回テストの結果は、表5の値を用いている。前回テストの結果は、今回同様、茶類、錠剤ともに日本薬局方「センナ」の成分含量測定法に従って抽出したものを測定した値である。

なお、前回テストの結果については、茶類 24 銘柄、錠剤 9 銘柄である。原材料にセンナ茎が表示されていないその他の茶類 2 銘柄は除いた。

(4) 茶類の入れ方によるセンノシド量の違い

① やかんで煮出す場合

やかんに湯を沸かし、ティーバッグ 1 包を入れ、弱火で煮出した。熱湯量やティーバッグを煮出す時間の表示があるものについてはそれに従って調整したもの（表示に幅のあるものについては、熱湯量は最小、時間は最大で行った）、ないものについては、1000mL の熱湯にティーバッグを入れて 10 分間煮出したものを HPLC 試料とした。なお、調整した量すべてを飲むとしてセンノシド量を算出している。HPLC 条件については、前ページ(1)に同じ。

② 時間を 2 倍にした場合

前ページ(1) A の方法で、ティーバッグを入れる時間のみを 2 倍に伸ばした。

2) 衛生面について

(1) 微生物について

食品衛生検査指針を参考とし、標準寒天培地を用いて、寒天平板培養法により一般細菌数を調べた。培養は、 $37\pm 1^{\circ}\text{C}$ で 40~48 時間行い、培養後、コロニー数を測定し判定した。また、大腸菌群は発色酵素基質による方法で、その有無を確認した。

茶葉は、約 10g に生理食塩水 90mL を加え 2 分間振り混ぜたものを、茶（入れた液）は 1 包を表 13 の方法で調製したものを試験溶液とした。一方、錠剤は、約 10g に生理食塩水 90mL を加えて 30 分間膨潤させた後、ストマッカーで均一化（2 分間）したものを試料溶液とした。なお、本試験には、スリーエムヘルスケア社のペトリフィルム、好気性菌測定用（AC プレート）及び、大腸菌および大腸菌群測定用（EC プレート）をそれぞれ用いた。

表 13. 試験溶液の調製方法〔茶(入れた液)〕

条件	銘柄	熱湯量 (mL)	浸す時間(分)
急須等	1	300	3
	2		
	3		
	4		
	5	150	3
	6	300	
	7	200	5
	8		3
	9	300	1
	10		3
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		2
水出し	12	1000	5時間
	14	400	30

備考 1) 急須等で入れると設定で、具体的な表示のあるものは表示に従って入れたもの（熱湯量、時間の幅のあるものについては、最小値で行った）、ないものについては 1 包を 300mL の熱湯で 3 分間浸したものを試験溶液とした。
 備考 2) 急須等の条件では、熱湯（沸騰水）または 80℃ の水で調製した。
 備考 3) 水出しの場合は、室温の水を用い、10℃ で放置して調製した。

(2) 異物

食品衛生検査指針 理化学編「異物 1. 分離補集法」に準じて行った。

・動物性異物

検体 10g をワイルドマンフラスコに量り採り、60%エタノール約 300mL を加え、沸騰湯浴中で 10 分間加熱、急冷したものについて、浮上法を行いその上層部をろ過し、ろ紙上に残ったものを実体顕微鏡で観察した。

・鉱物性異物

動物性異物補集終了後のワイルドマンフラスコを静かに傾斜して、液と浮遊物の大部分を捨て、水を加えて沈殿物を洗った。さらに傾斜して液を捨て、水を加えて沈殿物をビーカーに洗い出し、沈降法を行い、その下層部をろ過し、ろ紙上に残ったものを実体顕微鏡で観察した。

3) 残留農薬について

第十四改正 日本薬局方「センナ」の純度試験に従って、ガスクロマトグラフ法により総 BHC および総 DDT の測定を行った。総 BHC は α -BHC、 β -BHC、 γ -BHC、 δ -BHC の 4 種類の合計、総 DDT は *o,p'*-DDT、*p,p'*-DDT、*p,p'*-DDD、*p,p'*-DDE の 4 種類の合計である。

[GC 条件]

検出器：ECD、カラム：HP-5 (φ 0.32 mm×30mm 膜厚 0.25 μm)

温度 注入口：280 °C、検出器：300 °C

カラム：100 °C (2 min) → +10 °C/min → 280 °C (5 min)

キャリアガス：ヘリウム 1.5mL/min

注入方法：スプリットレス

[検出限界]

総 BHC、総 DDT とともに 0.02ppm

11. 参考資料

〈参考資料1〉

○「ダイエット」や「便通促進」効果に関する主な表示

区分	銘柄	「ダイエット」効果に関する主な表示	「便通促進」効果に関する主な表示
茶類	1 ☆	ダイエット減肥茶 こんな方におすすめします ベスト体重をオーバーしている！スリムで美しくなりたい！何を飲んでよいかわからない！	無
	2	ダイエット減肥茶 目標10kg 超実感	スゴイ！ だせ！だせ！ドッカン
	3 ☆	ダイエットしましょ。すーっさり	無
	4	無	そう快通茶 やさしく 通快 スッキリ 爽便 おなかのことを考えてみました。
	5 ☆	ダイエット茶 軽身楽	無
	6	DIET SLIM TEA スッキリしよう！！めざせ体脂肪-8% 皆様の気になる体脂肪コントロールをサポートする美味しい減肥茶としてお召し上がりください。 例えば、いつも利用しているジュース類をダイエットティーに代えてみるだけでも、ダイエットには理想的。	無
	7	SLIM	でるでる
	8 ☆	無	朝の宅配便
	9	Super Diet Tea ゲンピ茶 ダイエットティー	無
	10 ☆	減肥茶 ダイエットは毎日の食生活が大切ですが、本品は香り高いお茶をお楽しみいただきながらダイエットのお手伝いができます。	無
	11	無	美通茶 おなか快通
	12	体重と体脂肪を考えた！！元祖どーんとスリム やすらぎ・すっきり成分に、コリアンダー・センナ茎。女性らしいボディラインにパープルヤム。気になる糖分にバナバ、美容にエビスグサ、ハトムギを配合。ダイエット時のお肌の事も考えたおいしいダイエットティをどうぞ！	無
	13	減肥茶 ダイエットティー	通快
	14	無	おなかが気になる方 朝のリズム通々通茶 朝の大切なリズムをスムーズにサポートするためのブレンド茶です。
	15 ☆	ガッツであと-10kgダイエットティー 体にうれしいスリムティー 本品は、プーアル茶とセンナ茎をベースにダイエットで定評のある「ガルシニア」、糖分を気にされる方に嬉しい「ギムネマ」、水分を気にされる方のために「ハトムギ」、「ハブ」を配合、さらに話題のダイエット「黄杞茶」で美味しく仕上げています。つい食べ過ぎる方、甘いもの、油もの好きな方、いろんなタイプのダイエットに、スッキリ美味しいダイエットティーで、美味しいプロポーションと健康・美容に是非お試しください。	無
錠剤	16 ☆	めっちゃ燃やせる粒 もう失敗したくない・・・最後のダイエットを応援します！ 思い通りにボディメイク！ 究極のプログラム！ 目標1ヶ月後！ 甘いものが好き、食べてもしっかりダイエット 油っこいものが好き、スッキリ、シェイプダイエット お腹まわりを考えた、美しくラクラク引き締めダイエット 1袋にはこんな成分が入っています ●大食いサポート素材 ガルシニアエキス 250mg ダイエット素材として有力！HCA（ヒドロキシシエン酸）という成分が炭水化物（ごはんやパン、パスタなど）のカロリーをコントロールします。●甘党サポート素材 ギムネマンシルベスタエキス 225mg 甘味を消す、不思議な植物。成分のギムネマ酸が食べた糖分を確実に捕らえます。●運動不足サポート素材 トウガラシエキス 12.5mg 辛味成分のカプサイジンが、ついしまった落ちにくい脂肪をホットに刺激します。 ダイエットのポイント、いかに楽しくスピーディーに結果を出すか！勝負は1回！絶対に負けたくないあなたに“めっちゃ燃やせる粒”をお勧めします。余分なものは燃やして出す！これ以上の蓄積は許しません！認めません！	無
	17	スリムドカン スッキリ痩せたり、キレイなお肌になると大評判です。	たっぷりの食物繊維で悪いものをドッカンと押し出します。
	18	ダイエットしましょ。	無
	19 ☆	夢の海藻ダイエット お肉、フライ、ケーキ、お菓子など脂肪分の多い食事が好きな方に。食べ過ぎちゃったあなたの“おなかスッキリしなくっちゃ粒” 「スリムなボディ」のお友だち。	無
	20 ☆	無	便の達人 お腹のお掃除屋さん 便の達人“粒”は、お腹の中をキレイにして、あなたの健康と美容をバックアップします。 あなたのご家族・お友達がお通じでお悩みでしたら、サンプルを差し上げて下さい。そしてトラブルから解放して上げて下さい。

☆マークは、テストした製品と2005年7月現在販売されている製品とで表示が異なるもの。

備考) 購入時に入手したチラシを含む。

<参考資料2>

○テスト対象銘柄一覧（その1）

区分	銘柄名 〔製造者（元）、販売者または発売元〕	名称	内容量 〔購入価格 税込み（円）〕	原材料	原産国表示	1日の摂取目安量と入れ方の表示	摂取に関する主な注意表示
茶類	1	ダイエット減肥茶 ☆ 〔井藤漢方製薬㈱〕	野草混合茶 120g(5g×24袋) 〔398〕	グアバ葉、山査子、ハトムギ、ハブ茶、プアール茶、ギムネマ・シルベスタ、キダチアロエ、杜仲葉、 <u>センナ茎</u> （食品用）	無	ティーバッグ1袋を急須に入れてお召し上がりになる量のお湯を注いで適宜な色、香りが出ましたらカップや湯呑みに注いでお召し上がりください。 ※急須のお茶をそのまましておきますと渋みが出てきますのでそのつど出しきってください。	・体調の優れない時やまれに体質に合わない方もおられますのでその時はご利用を一時お控えください。
	2	だせ！だせ！ドッカン ダイエット減肥茶 〔㈱ケイセイ〕	野草混合茶 90g(3g×30p) 〔589〕	桑葉、プアール、ハブ、サラシア、アロエ、緑茶、 <u>センナ</u> （食用）	日本 中国 インド	（マグカップ・急須の場合）※ティーバッグ1袋を入れて、お飲みいただく量のお湯を注いで、適宜な色、香りが出ましたらお召し上がりください。※濃いめをお好みの方はゆっくり、薄めをお好みの方は早めに湯呑みへ注いでお飲みください。 （やかんで煮出す場合） ※熱湯約400～600mlにティーバッグ1袋を入れて、弱火で5～10分煮出してください。※夏場には、冷蔵庫で冷やしていただくとう層美味しくお飲みいただけます。	無理な減量法にはご注意ください。
	3	センナ茎茶 ☆ 〔㈱健民社〕	茶類 150g(5g×30包) 〔1,417〕	はぶ茶、 <u>センナ茎末</u> 、はと麦、ウーロン茶	無	・10のお湯にティーバッグ1包を入れ、やかん等で約10分程煮出してお召し上がりください。 ・急須にティーバッグ1包を入れて熱湯を注いでください。お好みの色が出たらお召し上がりください。 ・夏期は冷やしてお召し上がりください。	本品は、センナ茎末を原料とする栄養補助食品です。原材料をご参照のうえ、アレルギーがある方、妊娠中の方、疾病治療中の方の摂取はご配慮ください。まれに体質に合わない方もございます。ご使用前に表示及び説明文をよくお読みのうえ正しくお使いください。ご使用後体調のすぐれない場合は使用を中止してください。
	4	そう快通茶 〔㈱シーアイフーズシステムズ ㈱ティー・エイチ・ティー〕	ブレンド茶 150g(5g×30袋) 〔732〕	ハブ茶、 <u>センナ茎</u> 、ドクダミ、トウキシ、カンゾウ、キダチアロエ	無	・1日1～3ティーバッグが目安です。 ・カップ、湯のみ又は急須に直接ティーバッグを入れて、熱湯を注ぐだけでもお召し上がり頂けます。1袋で2～3杯ご利用頂くのが目安です。 ・熱湯で煮出して頂いても結構です。煮出した後、冷やしても風味豊かに飲み頂けます。（10の水に1袋を目安にご利用ください。）	・まれに体質に合わない場合がございますので、その場合はご利用を中止してください。 ・妊産婦およびお子さまは、召し上がらないでください。
	5	ケイシンラク バランシングティ （紫蘇の葉入り）☆ 〔㈱シャルマン水野〕	ブレンド茶 2.6g×60袋 〔4,074〕	サナムクヒの茎（食品用）、シソの葉、紅茶、エビスグサの種子、ウンシュウミカンの皮、オオバコの種子、カキドウシ、トウキシ	無	急須に1袋を入れ約150cc～180ccの熱湯を注いで、適宜な色・香りがでましたら湯呑などにいれてお飲みください。	無
	6	めがせ体脂肪 -8% 〔昭和商事㈱〕	お茶 90g(3g×30包) 〔522〕	プアール茶、ハブ茶、 <u>センナ茎</u> 、ハトムギ、杜仲葉、ギムネマシルベスタ葉、サラシアレチキュラータ、唐辛子、キトサン	無	・よく沸騰している約1リットルの熱湯に本品1包を入れ、約2～3分間を目安に弱火で煮出してください。 ・煮出す時間はお茶の色や香りでお好みによって調節してください。 ・程良い色と香りがでましたら、火を止めてポットで保温するか冷蔵庫で冷やしてお召し上がりください。 ・煮出した後、ティーバッグをそのまま入れておきますと、苦みが出てくる場合がありますので、必ず取り出してポットなどに移してください。 ・煮出したお茶は室温で放置すると変質する恐れがありますので、必ずポットで保温するか冷蔵庫で冷やして保存し、24時間以内にお召し上がりください。	・本品をご利用後便が緩くなる場合がありますので、妊産婦、お子様、胃腸の弱い方はご利用を控えてください ・まれに体質に合わないこともありますので、体調の優れない場合はご利用を一時中止してください。
	7	でるでるMAX 〔昭和製薬㈱〕	茶 107.8g (7.7g×14ティーバッグ) 〔766〕	はぶ茶、 <u>センナ太茎</u> （食用部位）、玄米、ガルシニア、みかんの果皮、キトサン（か）に由来）、ゴーヤ	インド 日本 中国	★1日、1～2ティーバッグがおいしい目安です。 マグカップまたは急須で ティーバッグ1袋に熱湯200～300ccで5分間、冷やしてもOK! 作った後できるだけ早くお召し上がり下さい。冷蔵庫で保存する場合でも、24時間以内にお召し上がり下さい。	・本品の主原料であるセンナ太茎及び、その他副原料は、アレルギーなど体質に合わない場合もございますので、はじめてご利用になる場合は、ティーバッグ1袋で作ったお茶の半分以下の量でお試し下さい。ご利用後、体調のすぐれない場合は、ご利用を中止して下さい。 ・飲みすぎはお腹をこわすものになります。 ・妊産婦、お子様は召し上がらないで下さい。
	8	朝の宅配便ニューマックス☆ 〔昭和製薬㈱〕	茶 168g (7g×24ティーバッグ) 〔999〕	はぶ茶、 <u>センナ太茎</u> （食用部位）、チョコレート、ダンディライオン、ヘリアンソス・ツペロス	インド フランス 中国 オーストラリア	★1日、1～2ティーバッグがおいしい目安です。 マグカップか急須にティーバッグ1袋を入れ、熱湯200ccを注いで3～5分間。温かいうちに飲んでね。冷やしてもOK! 24時間以内に飲もうね。	・本品の主原料であるセンナ太茎及び、その他副原料は、アレルギーなど体質に合わない場合もございますので、はじめてご利用の場合は、ティーバッグ1袋で作ったお茶の半分以下の量でお試し下さい。ご利用後、体調のすぐれない場合は、ご利用を中止して下さい。 ・お飲み物全般に言えることですが、飲みすぎはお腹をこわすものになります。 ・まれに、体質に合わない方もございますので、体調のすぐれない場合は、ご利用を中止して下さい。 ・妊産婦、お子様は召し上がらないで下さい。
	9	ゲンピ茶 〔㈱新日健〕	野草混合茶 90g(3g×30袋) 〔1,575〕	プアール茶、ハブ茶、キダチアロエ、ローズヒップ、サンザシ、 <u>センナ茎</u>	日本 中国 インド チリ	煮だしの場合 ①水約1リットルを目安に御使用下さい。②沸騰したらバックを1袋入れ5分ほど弱火で煮出して下さい。 ③ポットでお飲みいただくと香ばしい風味で美味しくお飲みいただけます。又、冷ましてから冷蔵庫で冷やしてお飲みいただくと麦茶代わりに美味しくお飲みいただけます。 急須の場合 ①急須にバックを1袋入れお飲みになる量のお湯を注いでください。②約1分を目安にほどよい色・香りが出たら湯飲みに交互に残さず全部注いでください。濃い目のお茶がお好みの方は時間を調整してください。	・万一、体質に合わない場合は飲用をお控え下さい。
	10	三美花減肥茶☆ 〔㈱新日健〕	野草混合茶 300g(5g×60袋) 〔3,654〕	ハマナス、ダイダイ、ジャスミン、ハブ茶、プアール茶、 <u>センナ茎</u> （食品用）	無	・ティーポットに1袋入れ、お飲みいただく量のお湯を注いで、適宜な色、香りが出ましたらカップに入れてお飲みください。 ・一度に、たくさんつくられる場合は、沸騰したお湯400～600mlに1袋入れ、弱火で5～10分間煮沸してから火を止め、袋を取り出して下さい。	無
	11	美通茶 〔原沢製薬工業㈱〕	混合茶 160g(5g×32パック) 〔3,150〕	ハトムギ、エビスグサ、麦芽、 <u>センナ茎</u> 、キダチアロエ、マルベリー、ドクダミ、麻の実、羅漢果、ギムネマシルベスタ	無	・毎日1.5L程度を目安にお飲みください。・初めて美通茶をお飲みになる方は薄く煮出してからお飲みください。 1.熱湯1.5～2Lにティーバッグ1袋を入れ、3分程度煮出して適度な色と香りが出たら火を止めてください。 2.ティーバッグを入れたままですと、濃く出過ぎますので、お好みの濃さでティーバッグを取り除いてください。（紅茶の色ぐらいを目安にしてください。） 3.お作りいただいたお茶は冷蔵庫に保存して、出来るだけその日のお飲みになることをお勧めします。	・妊娠中の方や授乳中の方、また原材料名をご参照の上、食品アレルギーのある方はお召し上がりにならないでください。
	12	どーんとスリム茶 〔㈱マーキュリー〕	野草茶 90g(3g×30包) 〔732〕	エビスグサ、ハトムギ、 <u>センナ茎</u> 、コリアンダー、バナバ、パープルヤム	インド タイ トルコ フィリピン	・お水約10Lのアイスポットにティーバッグを1包入れて、約3時間～5時間おいて下さい。 ・沸騰したお湯約1.5Lにティーバッグを入れて、約3分～5分、中火で煮出してください。	・一度に多く召し上がると便が緩くなる事がありますので、妊産婦、お子様、胃腸の弱い方はご利用を控えて下さい。 ・アレルギー体質、又は、まれに体質に合わない方もおりますので、お召し上がり後体調の優れない時は、一時ご利用を中止して下さい。

☆マークは、テストした製品と2005年7月現在販売されている製品とで表示が異なるもの。

備考1) 購入価格は、2005年7月に店頭もしくはインターネットにおける購入価格を調査した時のものを記載した。備考2) 原材料中に下線が引いてあるものは、センナ茎に関する表示。

○テスト対象銘柄一覧（その2）

区分	銘柄名 〔製造者（元）、販売者または発売元〕	名称	内容量 〔購入価格 税込み（円）〕	原材料	原産国表示	1日の摂取目安量と入れ方の表示	摂取に関する主な注意表示
茶類	13 通快減肥茶 〔マンナンフーズ㈱〕	茶類	240g(4g×60袋) [1,029]	杜仲葉、ハトムギ、大麦、エビスグサ、センナ茎、黄杞葉、どくだみ葉、六保茶、ガルシニア・カンボジアエキス	無	・ティーバッグ1袋を湯のみ茶わんに入れ、熱湯を注いでください。約1～2分程で出来上がります。1袋で3杯くらいご利用いただけます。 ・ティーポット（コップ2～3杯分）または急須にティーバッグ（1～2袋）を入れ、お好みの濃さで取り出してお召し上がりください。 ・熱湯で煮出した後、冷やしても風味豊かな飲み物としてお楽しみいただけます。	適量を守ってお召し上がりください。
	14 通々通茶 〔山本漢方製薬㈱〕	ハトムギ混合茶	300g(15g×20袋) [1,344]	ハトムギ、ハブ茶、ウーロン茶、センナ茎（食品用部位）、どくだみ、難消化性デキストリン、冬葵の実、玄米、キダチアロエ、有胞子性乳酸菌	無	お水の量は好みにより、加減してください。本品は食品ですが、1日1バッグがおいしい目安です。 〈やかんの場合〉 水又は沸騰したお湯、約600cc～800ccの中へ1バッグを入れ、約5分以上、充分に煮だし、お飲みください。バッグを入れたままにしておきますと、一層おいしくなりますが、濃く感じる方は、バックを取り除いてください。 〈冷蔵庫に冷やして〉 上記のとおり煮出したあと、湯ざましをして、ペットボトル又は、ウォーターポットに入れ替え、冷蔵庫に保管、お飲みください。 〈ウォーターポットの場合〉 ウォーターポットの中へ、1バッグを入れ、水約400cc～600ccを注ぎ、冷蔵庫に保管、約20分～30分後冷水通々通茶になります。 〈キュースの場合〉 ご使用中の急須に1袋をボンと入れ、お飲みいただく量の湯を入れてお飲みください。濃いめをお好みの方はゆっくり、薄めをお好みの方は、手ばやに茶碗へ給湯してください。	・主原料のセンナ茎（食品）や、その他のブレンド原料はまれに体質に合わない場合もありますので、はじめは半分少量からお試ください。・飲みすぎは、おなかをこわすもとなりません。 ・妊娠中の方、授乳中の方、小児の方はお召し上がりしないで下さい。 ・体調不良時、アレルギー症などお体に合わない場合はご利用を中止してください。 ・本品は自然食品ですが、体調不良時、アレルギー症など、お体に合わない場合にはご使用をおやめ下さい、また無理な減量法などは十分に注意して下さい。 ・お召し上がりすぎには十分に注意して下さい。はじめての方は、お飲みになる量を半分以下の量からお試下さい。
	15 ガッツであと-10kgダイエット ティー☆ 〔ユウキ製薬㈱〕	お茶	3g×38包 [714]	プーアル茶、センナ茎、ハブ茶、ハトムギ、杜仲茶、黄杞茶、ギムネマシルベスタ、ガルシニア	中国 インド	煮出す場合：約500ml～1lの沸騰したお湯に1～2包を入れ、とろ火で2～3分ほど煮出して1日数回に分けてご飲用下さい。煮出した後、ティーバッグをそのまま入れておきますと苦味が出ますので、取り出して下さい。冷やしても美味しくご飲用頂けます。 急須の場合：急須に1包を入れて、熱湯を注ぎ、2～3分間蒸らして、お好みの色・香りにご飲用下さい。1包で数回ご飲用頂けます。	無
錠剤	16 めっちゃ燃やせる粒☆ 〔井藤漢方製薬㈱〕	野草等加工食品	37.5g(250mg×5粒×30袋) [999]	乳糖、ガルシニアエキス、ギムネマシルベスタエキス、センナ茎エキス（食品用）、ハブ茶エキス、トウガラシエキス、デキストリン、セルロース、ショ糖エステル	無	本品は食品ですので、お召し上がりの量などに特別な定めはありませんが、1日当たり1袋(5粒)を目安に、そのまま水またはお湯にて噛まずにお飲みください。	・一度に飲み込もうとせず、数粒ずつに分けてお飲みください。 ・ごくまれに体質に合わない方もおられますので、その場合はご利用をお控えください。
	17 スリムドカン 〔㈱銀座まるかん若返り対策研究所〕	ハブ茶末含有食品	80g [5,250]	ハブ茶末、センナ茎末、センナ茎エキス末、キダチアロエ葉末、オオバコ種子末、忍冬、明日葉末、米胚芽・植物発酵抽出物、ハトムギ末、キトサン、昆布末、スギナ末、ギムネマエキス末、ボレップ末、VC、VE、VB ₁ 、VB ₂ 、VB ₁₂ 、無臭にんにく末、小麦抽出物、カキ殻末、ショ糖エステル、乳糖、塩化ナトリウム、緑茶抽出物、ペプチーノ、デキストリン	無	食品ですから量に制限はありませんが、目安として3～12粒を1日数回に分けてお召し上がることをおすすめします。	本品の摂取により体質に合わない場合は摂取を中止して下さい。
	18 センナ茎粒 〔㈱健民社〕	センナ茎末加工食品	90g(250mg×約360粒) [1,764]	センナ茎末、ギムネマシルベスタ葉末、結晶セルロース、ナタネ油	無	栄養補助食品として、1日5～6粒を目安に水またはぬるま湯でお召し上がりください。	本品は、センナ茎末を原料とする栄養補助食品です。原材料をご参照のうえ、アレルギーがある方、妊娠中の方、疾病治療中の方の摂取はご配慮ください。まれに体質に合わない方もございます。ご使用後体調のすぐれない場合は使用を中止して下さい。
	19 おなかスッキリしなくっちゃ粒☆ 〔㈱タキザワ漢方廠〕	キチン・キトサン加工食品	7.5g(1粒250mg×30粒) [336]	センナ茎、キチン・キトサン、海藻ヒバマタ、アスコルビン酸、ニコチン酸アミド、V.A、V.B ₁ 、V.B ₂ 、V.D、ヘム鉄、結晶セルロース、しょ糖エステル、セラック	無	健康食品として1日に10粒程度を2回位に分けて、水またはお湯と一緒に召し上がり下さい。	・アレルギー体質等まれに体質に合わない方もいますので、お召し上がり後体調のすぐれない時は、一時中止して下さい。 ・妊娠・授乳中の方、小さなお子様は、お召し上がりをお控えください。 ・甲殻類アレルギーの方は、召し上がりしないで下さい。
20 便の達人 粒☆ 〔ニッショク㈱〕	野草根菜類加工食品	33g(125粒相当/約25日分) [2,940]	キダチアロエ、乾燥ビール酵母、ビワの葉末、桃の花、桑の葉末、ウーロン茶、マテ茶、アオイの葉末、ビタミンB群、桂皮（シナモン）、アガリクス茸末、ハスの葉末、クロム、パンシヤクキ、サイリウム、クエン酸、カキの葉末、ハブ茶、キトサン、パパイアピール（皮）、緑茶末、オレンジピール（皮）、ドクダミ、オリゴ糖、ビタミンC、結晶セルロース、なたね油脂肪粉末	無	栄養補助食品として1日5～6粒程度を目安に水または、ぬるま湯ともにお召し上がりください。	・一日の目安量をお守り下さい。 ・体調・体質に合わないときは量を減らすか、ご使用をお止め下さい。 ・原材料をご確認の上、食品アレルギーのある方はお召し上がりにならないで下さい。	
参考品（医薬品）	A 山本漢方 センナ「分包」☆ 〔山本漢方製薬㈱〕	—	144g(3g×48包) [399]	1日量 1包(3.0g)中 日本薬局方センナ3.0g	無	大人（15歳以上）は、1日量1包に熱湯約150mlを加え、15分間煮た後に滓（カス）をこして取り去り、なるべく就寝前1回に1/2量～全量を服用してください。ただし、初回は最小量を用い、便通の具合や状態を見ながら少しずつ増量又は減量してください。	●してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。）1.本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。他の瀉下薬（下剤）2.授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。3.大量に服用しないでください。 ●相談すること 1.次の人は服用前に医師または薬剤師に相談してください。(1)医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)本人又は家族がアレルギー体質の人。(4)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(5)次の症状がある人。激しい腹痛、悪心・嘔吐 2.次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文をもって医師または薬剤師に相談してください。(1)服用後、次の症状があらわれた場合。皮ふ（発疹・発赤、かゆみ） 消化器（はげしい腹痛、悪心・嘔吐）(2)1週間位服用しても症状がよくならない場合。3.次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。下痢
	B センナ錠 〔皇漢堂製薬㈱〕	—	120錠 [1,029]	1日量(10錠)中 日局センナ末 1,500mg。添加物として、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースカルシウム、セルロース、タルク、ステアリン酸Mg	無	次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時に水でかまずに服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。ただし、初回は最小量を用い、便通の具合や状態をみながら少しずつ増量または減量してください。 成人（15歳以上） 1回量3～5錠 1日服用回数2回 11歳以上15歳未満 1回量2～3錠 1日服用回数2回 11歳未満の小児 服用しないこと	●してはいけないこと（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります）1.本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。他の瀉下薬（下剤）2.授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。3.大量に服用しないでください。 ●相談すること 1.次の人は服用前に医師または薬剤師に相談してください。(1)医師の治療を受けている人。(2)妊婦または妊娠していると思われる人。(3)本人または家族がアレルギー体質の人。(4)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(5)次の症状がある人。はげしい腹痛、悪心・嘔吐 2.次の場合は、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師または薬剤師に相談してください。(1)服用後、次の症状があらわれた場合。皮ふ（発疹・発赤、かゆみ） 消化器（はげしい腹痛、悪心・嘔吐）(2)1週間位服用しても症状がよくならない場合 3.次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続または増強が見られた場合には、服用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。下痢

☆マークは、テストした製品と2005年7月現在販売されている製品とで表示が異なるもの。

備考1) 購入価格は、2005年7月に店頭もしくはインターネットにおける購入価格を調査した時のものを記載した。備考2) 原材料中に下線が引いてあるものは、センナ茎に関する表示。

<title>ダイエットなどをうたった「健康食品」－センナ茎を使った茶類を中心に－ (全文) </title>